

# オリックス株式会社

## 2012年3月期決算説明資料

グループCEO  
グループCFO

宮内 義彦  
浦田 晴之

2012年5月11日

# 本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京・大阪証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

本資料は、調整後の長期借入債務および有利子負債、調整後の総資産および調整後の当社株主資本や、さらにそれらを用いて計算されたその他の指標や、調整後のセグメント利益を含めた米国会計基準に準拠しない（Non-GAAP）特定の財務指標を含んでおります。Non-GAAP財務指標は、米国会計基準に準拠した連結財務諸表や表示を含んでいない最も直接的に比較できる財務指標に対して、分離または代用として考慮されるものではありません。これらNon-GAAP財務指標と米国会計基準に準拠した財務指標を最も直接的に比較することができる調整表につきましては、本資料30ページから32ページを参照下さい。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

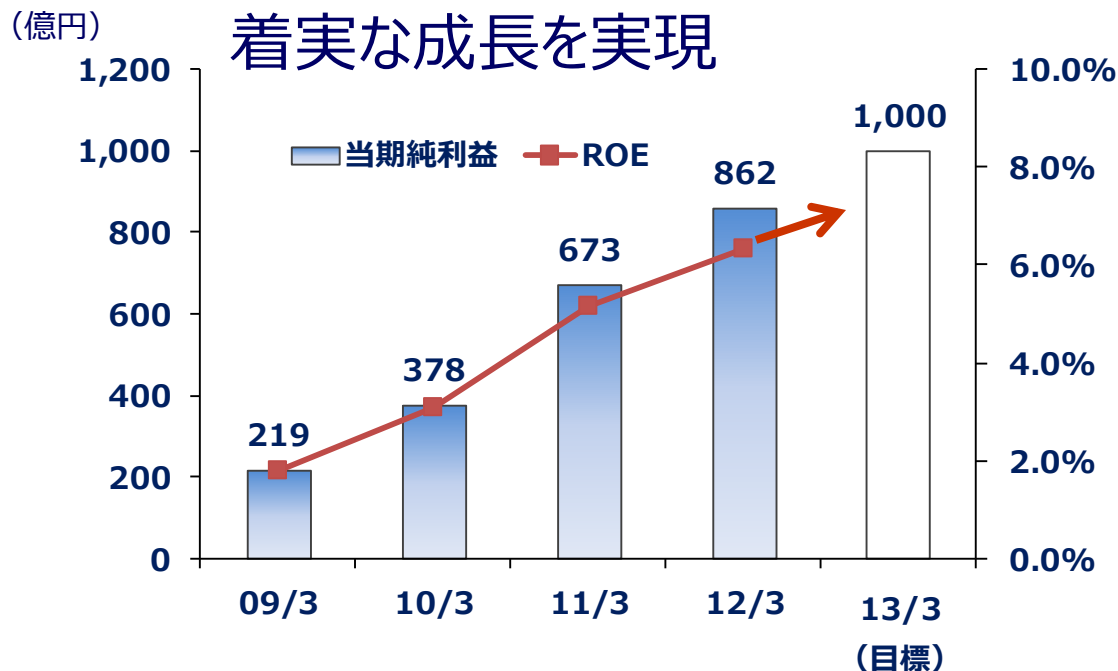
# 目次

---

<b>I. 業績総括</b>	<b>P. 3</b>
<b>II. 今後の方向性</b>	<b>P. 4</b>
<b>III. セグメント別業績・事業戦略</b>	<b>P. 6</b>
<b>IV. 不動産セグメントの状況</b>	<b>P. 14</b>
<b>V. 海外セグメントの状況</b>	<b>P. 15</b>
<b>VI. まとめ</b>	<b>P. 16</b>
<b>補足資料</b>	

# I. 業績総括

2012年3月期 前期比28%増の862億円を達成  
着実な成長を実現



2013年3月期 当期純利益 1,000億円(16%増)を目指す  
『環境変化には攻めと守りで柔軟に対処』  
『グループ力と積極投資で成長を加速』

以下、「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

## Ⅱ. 今後の方向性

---

- 蓄積された経験とノウハウ、多様な専門性
- セグメントを横断したグループネットワークとコワーク

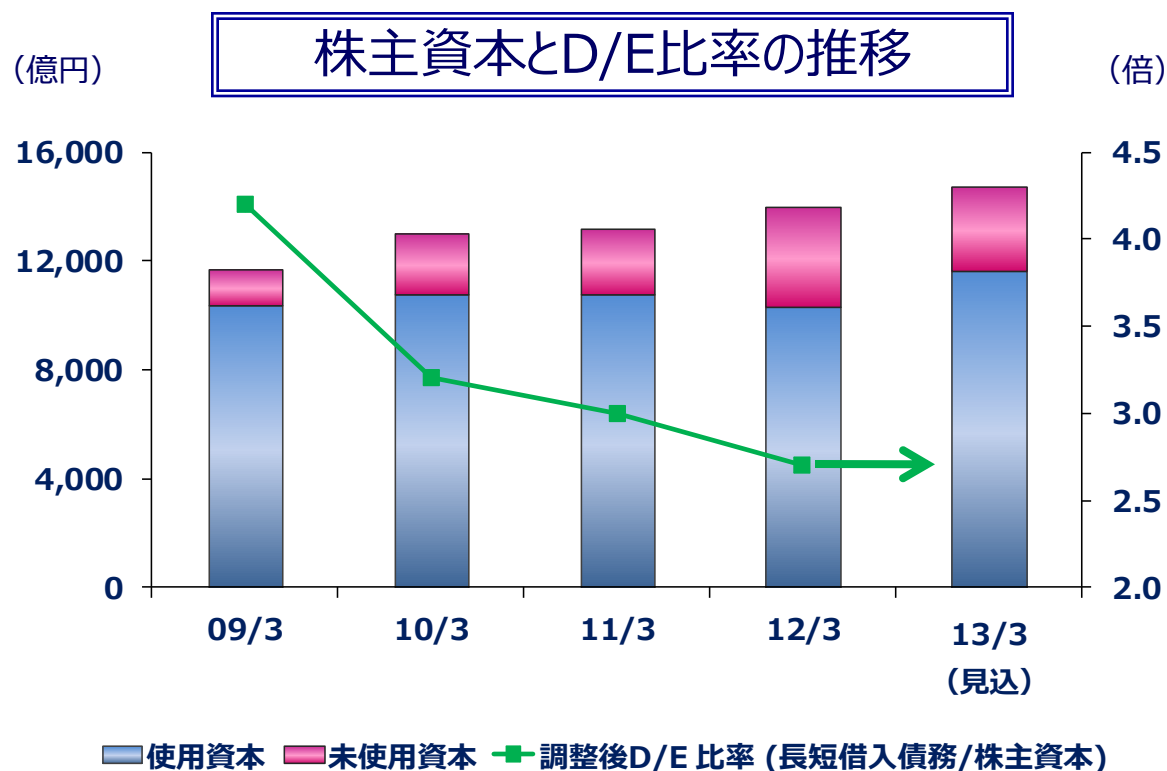
「金融＋サービス」

デットからエクイティ、さらにオペレーションへ

- ✓ 貸付業務は徹底的に収益性を追求
- ✓ 投資活動により成長性を取り込む
- ✓ 専門性を活かし、自ら事業を推進・付加価値を創出

## Ⅱ. 今後の方向性

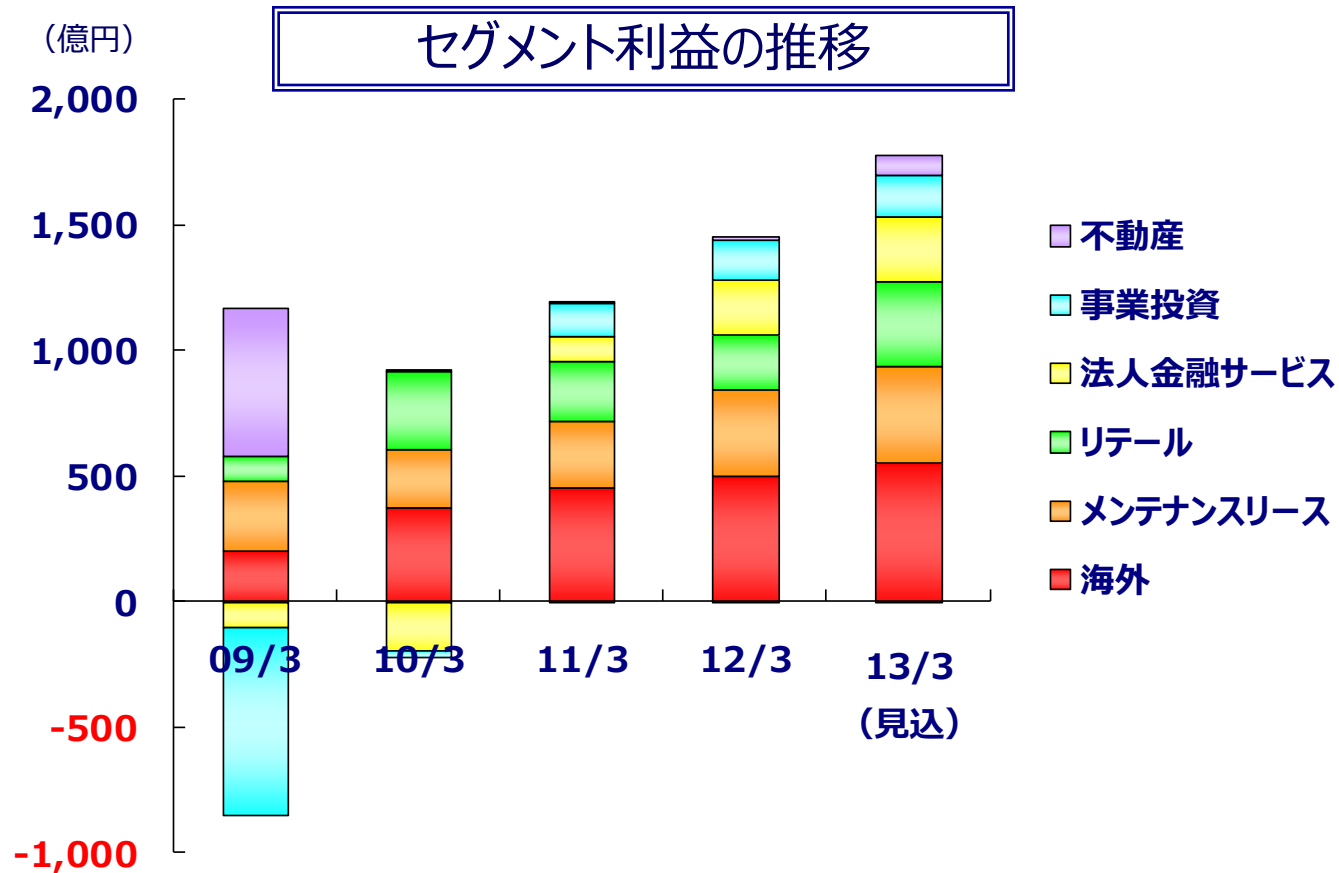
- 資本の十分性を重視しながら、さらに効率的な使い方を
- 「1株あたり利益」の着実な成長を目指す



# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

利益の成長

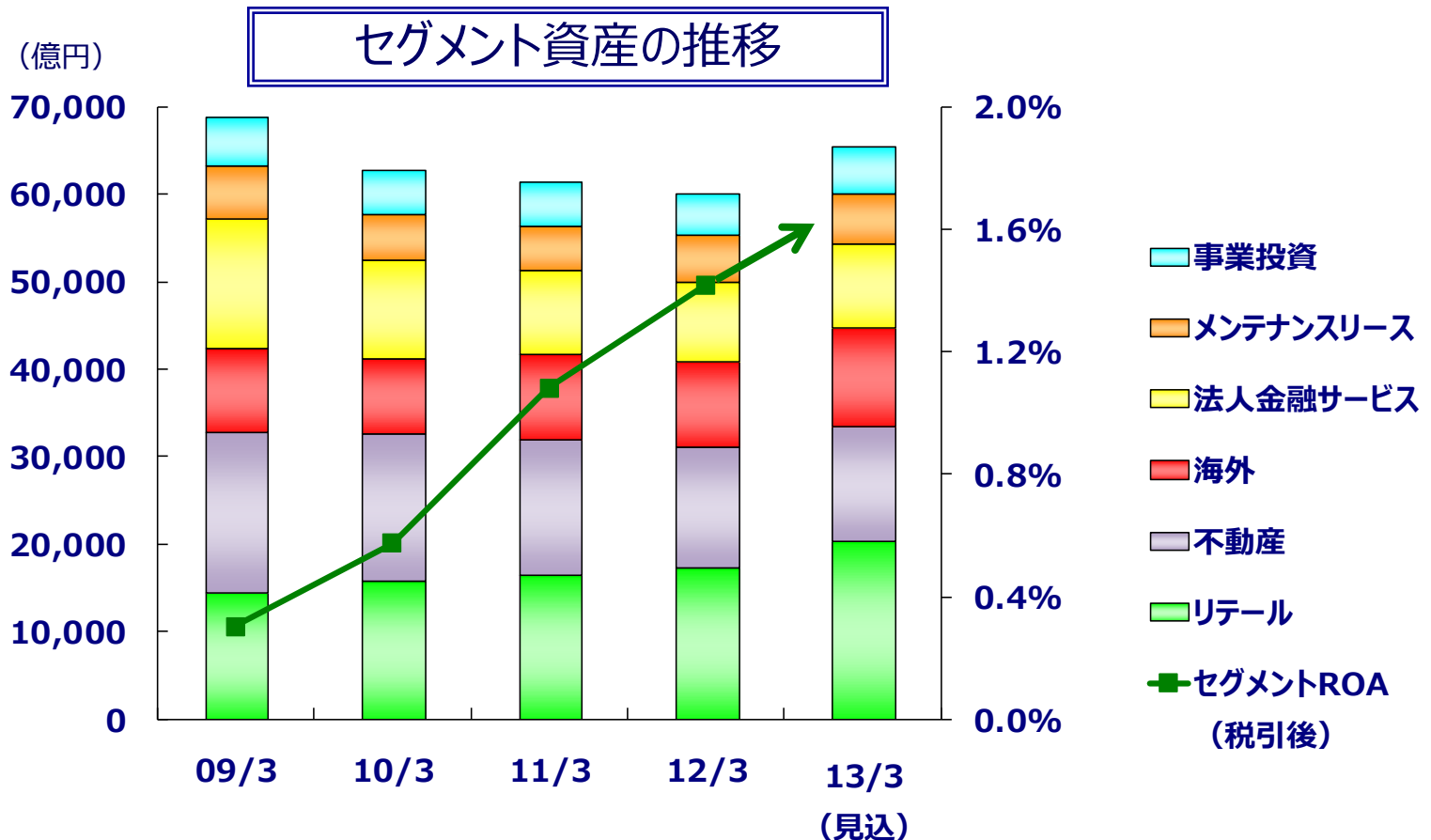
- 前期はリテールを除く全セグメントで増益
- 今期は全セグメントで増益を目指す



# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 資産の拡大

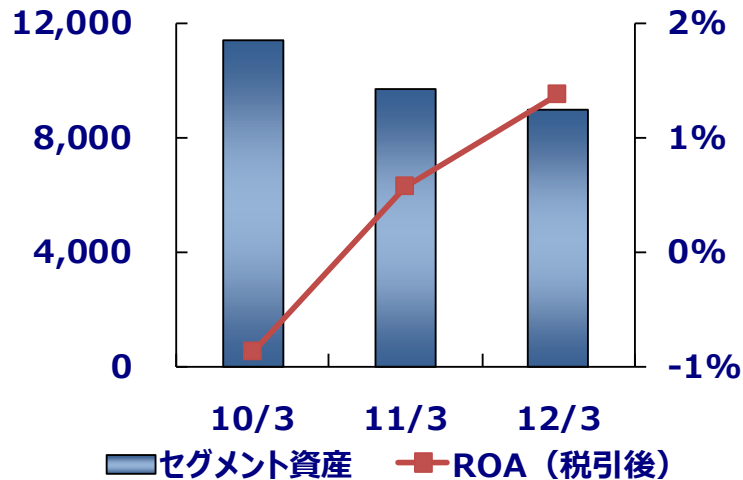
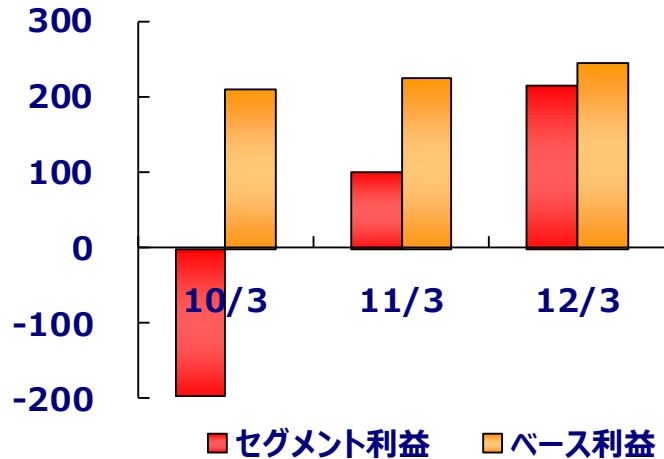
- セグメント資産ROAは着実に上昇
- 不動産の資産圧縮を継続しつつ、資産全体の増加を目指す



# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 1. 法人金融サービス

業績推移 (億円)



12.3期の成果

- ✓ 顧客基盤の拡大
- ✓ 新規実行・手数料収入の増加

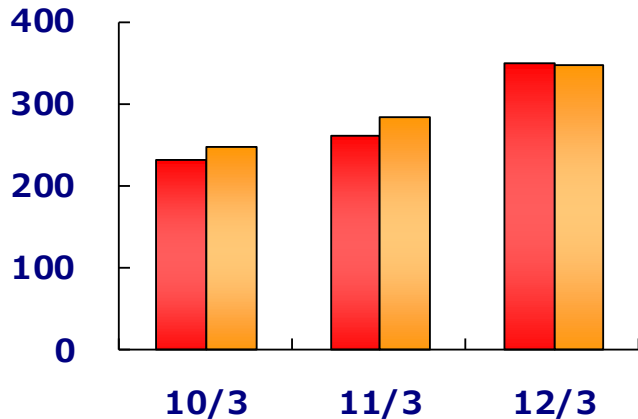
13.3期の事業戦略

- ✓ グループの中核としての機能強化
- ✓ 小口分散された優良資産の増加

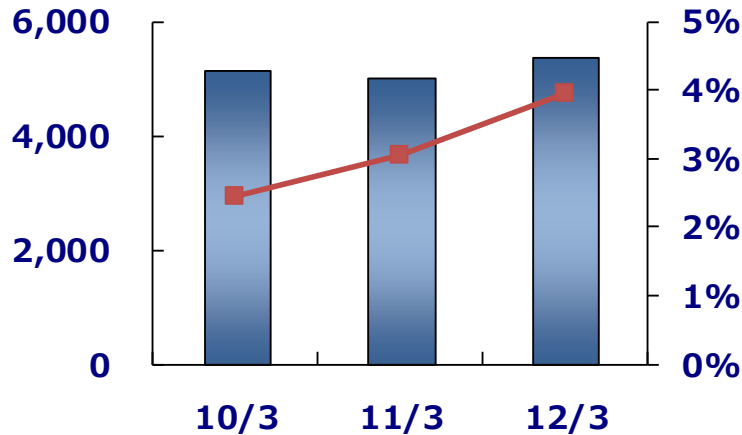
# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 2. メンテナンスリース

業績推移 (億円)



■ セグメント利益 ■ ベース利益



■ セグメント資産 ■ ROA (税引後)

12.3期の成果

- ✓ 安定した高収益性を維持
- ✓ 資産の着実な増加

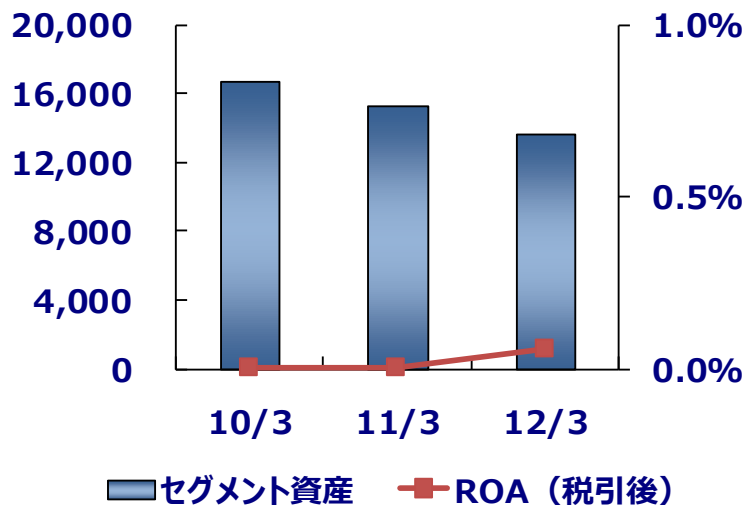
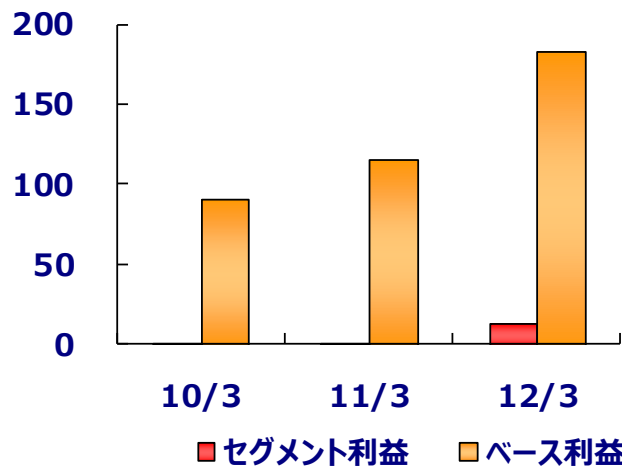
13.3期の事業戦略

- ✓ 高付加価値サービスの拡大
- ✓ 業務改革と原価管理の強化

# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 3. 不動産

業績推移 (億円)



12.3期の成果

- ✓ 資産の圧縮
- ✓ 賃貸不動産の利回り、空室率の維持

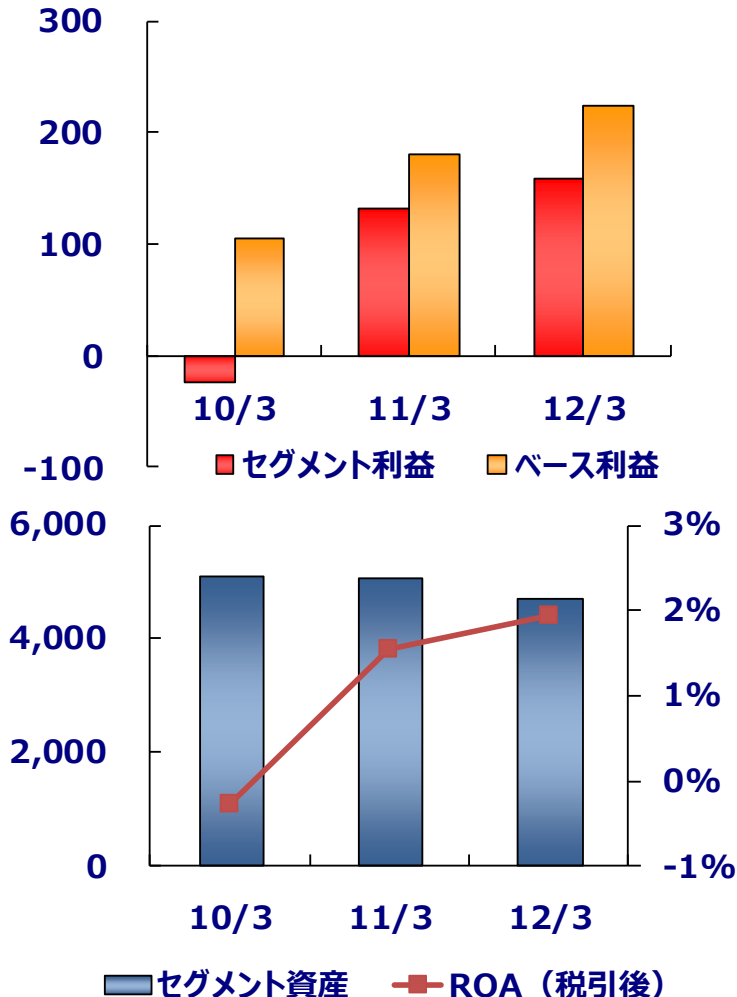
13.3期の事業戦略

- ✓ 資産の圧縮を継続
- ✓ 安定収益基盤の強化

# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 4. 事業投資

業績推移 (億円)



12.3期の成果

- ✓ サービス事業の利益拡大
- ✓ 投資案件の株式売却益計上

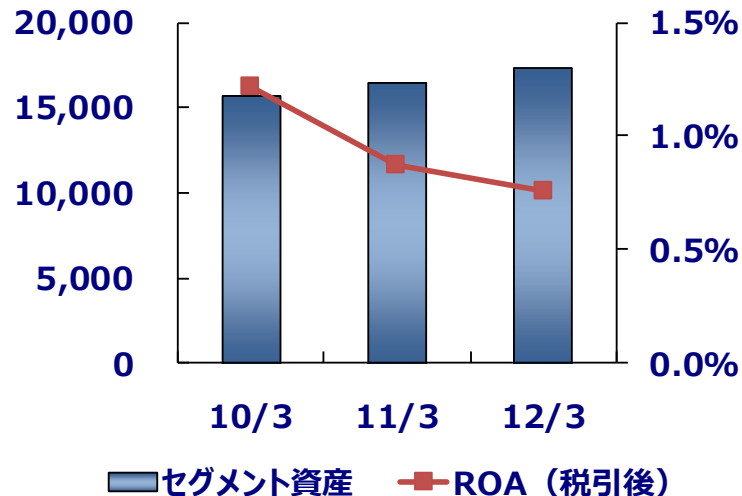
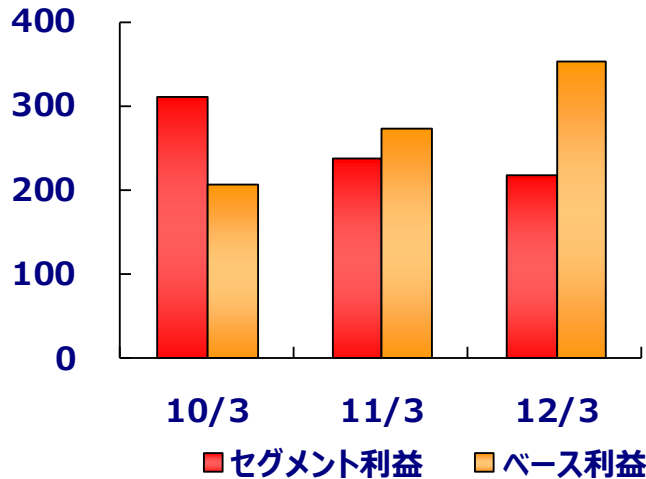
13.3期の事業戦略

- ✓ 環境エネルギー・事業投資・サービスの三本柱へ
- ✓ 積極的な投資拡大

# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 5. リテール

業績推移 (億円)



12.3期の成果

- ✓ 法人・個人顧客基盤の拡大
- ✓ ベース利益の着実な伸長

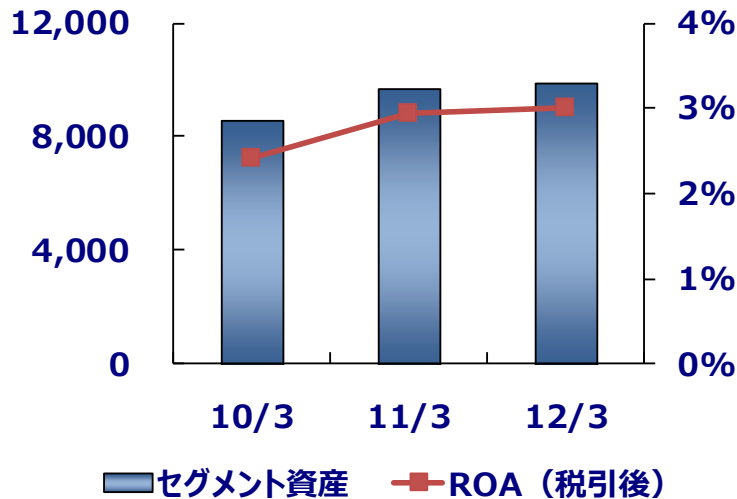
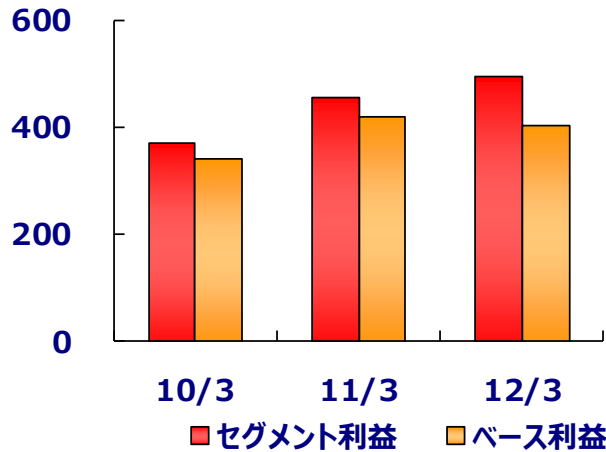
13.3期の事業戦略

- ✓ 安定収益基盤の拡充
- ✓ カードローン事業の積極的な推進

# Ⅲ. セグメント別業績・事業戦略

## 6. 海外

業績推移 (億円)



12.3期の成果

- ✓ 米州・地方債売却益の貢献
- ✓ 新興国・成長市場への投資拡大

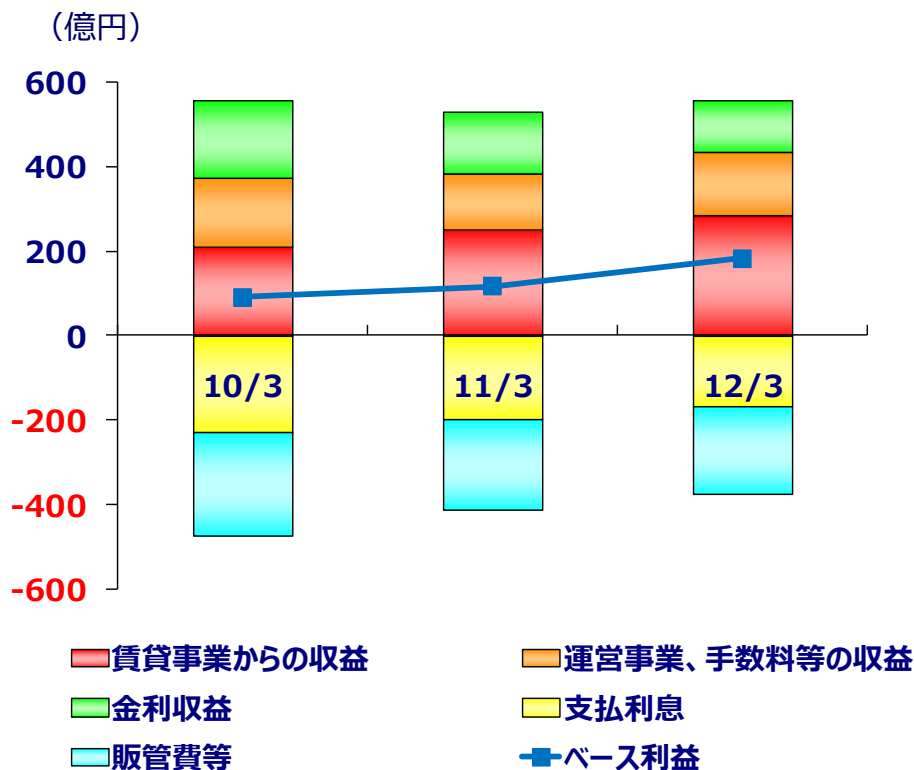
13.3期の事業戦略

- ✓ 米州：  
「金融＋サービス」の継続強化
- ✓ アジア：  
リース事業、新規投資の拡大

# IV. 不動産セグメントの状況

- リーシングの強化により、賃貸事業からの収益が順調に増加
- 専門性を強化し、安定収益基盤の拡大を図る

ベース利益の推移



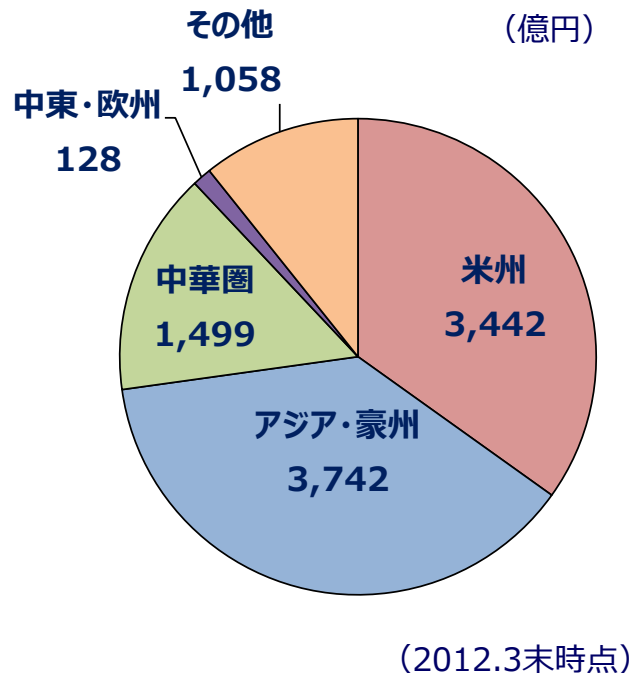
新規運営施設

名称	種別	オープン時期	場所
京都水族館	水族館	12年3月	京都
オリックス劇場	ホール	12年4月	大阪
蓼科グランドホテル 滝の湯	旅館	12年4月 (リニューアル)	長野
すみだ水族館	水族館	12年5月 (予定)	東京
播州東洋ゴルフ 倶楽部	ゴルフ場	12年6月 (予定)	兵庫

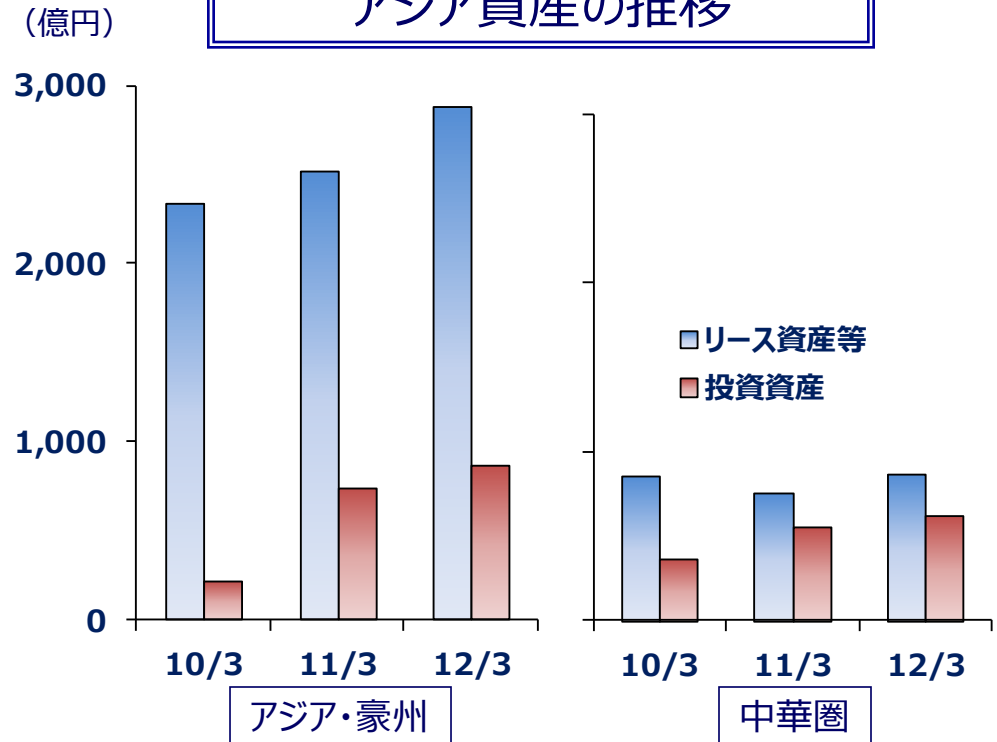
# V. 海外セグメントの状況

- アジアにおけるリース資産の伸長
- 付加価値サービスのある自動車、航空機事業の拡大
- エクイティ投資はアジアを中心として、積極的に展開

地域別状況



アジア資産の推移



## VI. まとめ

---

「金融＋サービス」

デットからエクイティ、さらにオペレーションへ

- ✓ 貸付業務は徹底的に収益性を追求
- ✓ 投資活動により成長性を取り込む
- ✓ 専門性を活かし、自ら事業を推進・付加価値を創出

通期目標

2013年3月期 当期純利益 1,000億円

---

# 補足資料

# 補足資料 (1) 業績推移総括

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期
営業収益	8,906	9,469	9,729
当期純利益 ※1	378	673	862
セグメント資産	62,843	61,428	60,021
総資産	77,398	85,816	83,549
株主資本	12,987	13,193	13,961
株主資本比率 ※2	17.2%	17.7%	18.9%
DELシオ ※2	3.2倍	3.0倍	2.7倍

※1 当社株主に帰属する当期純利益

※2 連結された証券化のためのVIEに帰属する特定の資産や負債、および新会計基準の適用を控除し、調整後で表示しております。米国会計基準に準拠して計算および表示された最も直接的に比較できる業績指標の表示、および米国会計基準と米国会計基準に準拠しない業績指標との調整表につきましては、30ページおよび31ページを参照下さい。

## 補足資料 (2) セグメント別利益

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期
法人金融サービス	-195	100	215
メンテナンスリース	233	262	347
不動産	1	1	13
事業投資	-24	132	160
リテール	311	238	218
海外	371	456	498
セグメント利益合計	699	1,189	1,452

非継続事業からの損益（税効果控除前）、非支配持分に帰属する当期純利益および償還可能非支配持分に帰属する当期純利益を加減しています。

# 補足資料 (3) ベース利益

(単位：億円)

	財務指標	法人金融	メンテナンス リース	不動産	事業投資	リテール	海外	セグメント 合計
10.3期	ベース利益	210	249	91	106	206	343	1,205
	キャピタルゲイン	7	5	236	11	201	200	659
	貸倒引当金繰入	△ 405	△ 20	△ 95	△ 23	△ 93	△ 79	△ 715
	減損	△ 6	△ 0	△ 230	△ 118	△ 3	△ 93	△ 450
	セグメント利益	△ 195	233	1	△ 24	311	371	699
11.3期	ベース利益	226	284	116	181	274	421	1,502
	キャピタルゲイン	4	1	225	109	0	139	478
	貸倒引当金繰入	△ 127	△ 20	△ 11	△ 68	△ 14	△ 32	△ 272
	減損	△ 3	△ 4	△ 329	△ 90	△ 22	△ 71	△ 518
	セグメント利益	100	262	1	132	238	456	1,189
12.3期	ベース利益	245	347	183	224	353	404	1,756
	キャピタルゲイン	3	1	142	53	3	212	415
	貸倒引当金繰入	△ 23	△ 0	△ 30	△ 75	△ 11	△ 38	△ 177
	減損	△ 11	△ 0	△ 282	△ 42	△ 127	△ 80	△ 542
	セグメント利益	215	347	13	160	218	498	1,452

セグメント利益は、税引前当期純利益に非継続事業からの損益（税効果控除前）、非支配持分に帰属する当期純利益および償還可能非支配持分に帰属する当期純利益を加減しています。ベース利益は、セグメント利益からキャピタルゲイン、貸倒引当金繰入額および減損を除いた、米国会計基準に準拠しない財務指標です。米国会計基準に準拠して計算および表示された最も直接的に比較できる財務指標の表示、および米国会計基準に準拠しない財務指標との調整表につきましては、32ページを参照ください。

# 補足資料 (4) セグメント別・地域別資産

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期
法人金融サービス	11,403	9,683	8,988
メンテナンスリース	5,157	5,027	5,378
不動産	16,774	15,398	13,692
事業投資	5,113	5,060	4,711
リテール	15,788	16,537	17,385
海外	8,608	9,722	9,868
セグメント資産合計	62,843	61,428	60,021

## ■ 海外セグメントにおける地域別資産内訳

	10.3期	11.3期	12.3期
米州	4,077	3,949	3,442
アジア・豪州	2,560	3,249	3,742
中華圏	1,229	1,317	1,499
中東・欧州	165	138	128
その他	577	1,069	1,058
合計	8,608	9,722	9,868

# 補足資料 (5) 資金調達の様況

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期
CP	2,828	1,808	1,804
金融機関借入	25,856	23,609	22,773
社債・MTN	13,392	14,500	13,930
小計	42,076	39,917	38,507
預金	8,533	10,652	11,035
ABS、CMBS ※	2,022	10,182	8,747
長短借入債務および預金	52,631	60,751	58,290

※ ABS、CMBSの増加（10.3期→11.3期）は新会計基準適用の影響

# 補足資料 (6) 手元流動性の状況

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期
コミットメント引未使用額 (①)	3,859	4,104	4,274
現金および現金等価物 (②)	6,391	7,321	7,869
手元流動性 (① + ②)	10,250	11,425	12,143
市場性短期債務 (③) ※1	6,921	5,593	4,187
手元流動性カバー率 ((①+②)/③)	148%	204%	290%
長期比率 (ABS、CMBS除く) ※2	86%	88%	88%

※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

※2 連結された証券化のためのVIEに帰属する特定の資産や負債、および新会計基準の適用を控除し、調整後で表示しております。米国会計基準に準拠して計算および表示された最も直接的に比較できる業績指標の表示、および米国会計基準に準拠しない業績指標との調整表につきましては、30ページおよび31ページを参照下さい。

# 補足資料 (7) セグメント別業績①

## 法人金融サービス

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期	前期比
セグメント収益	842	793	724	91%
セグメント利益	-195	100	215	215%
セグメント資産	11,403	9,683	8,988	93%
ROA (税引後)	-0.9%	0.6%	1.4%	-

## メンテナンスリース

	10.3期	11.3期	12.3期	前期比
セグメント収益	2,262	2,258	2,320	103%
セグメント利益	233	262	347	132%
セグメント資産	5,157	5,027	5,378	107%
ROA (税引後)	2.4%	3.0%	3.9%	-

## 補足資料 (8) セグメント別業績②

### 不動産

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期	前期比
セグメント収益	2,150	2,176	2,226	102%
セグメント利益	1	1	13	2498%
セグメント資産	16,774	15,398	13,692	89%
ROA (税引後)	0.0%	0.0%	0.1%	-

### 事業投資

	10.3期	11.3期	12.3期	前期比
セグメント収益	873	896	733	82%
セグメント利益	-24	132	160	121%
セグメント資産	5,113	5,060	4,711	93%
ROA (税引後)	-0.3%	1.5%	1.9%	-

## 補足資料 (9) セグメント別業績③

### リテール

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期	前期比
セグメント収益	1,555	1,488	1,601	108%
セグメント利益	311	238	218	92%
セグメント資産	15,788	16,537	17,385	105%
ROA (税引後)	1.2%	0.9%	0.8%	-

### 海外

	10.3期	11.3期	12.3期	前期比
セグメント収益	1,859	1,769	1,872	106%
セグメント利益	371	456	498	109%
セグメント資産	8,608	9,722	9,868	101%
ROA (税引後)	2.4%	2.9%	3.0%	-

# 補足資料 (10) 不動産セグメント資産の状況

## ■ 賃貸不動産 物件種別内訳 (12.3期) (単位：億円)

物件種別	賃貸中		開発中	合計
		NOI利回り		
オフィスビル	2,905	4.2%	733	3,638
物流施設	477	4.6%	156	633
商業施設	1,591	6.7%	353	1,944
賃貸マンション	1,318	4.7%	83	1,401
その他	768	7.1%	378	1,146
合計	7,059	5.2%	1,704	8,763

## ■ 賃貸不動産 所在地別内訳 (12.3期)

	賃貸中	開発中	合計
東京	3,343	698	4,041
関東 (除く東京)	1,107	244	1,352
大阪	1,133	328	1,461
関西 (除く大阪)	321	22	343
名古屋	103	171	274
札幌・仙台・福岡	450	179	629
その他	603	61	664
合計	7,059	1,704	8,763

# 補足資料 (11) 不動産セグメント資産の状況

## ■ 不動産セグメント資産の内訳・推移

(単位：億円)

種別	10.3期	11.3期	12.3期
賃貸不動産	9,248	9,059	8,763
賃貸中	6,603	6,802	7,059
開発中	2,644	2,256	1,704
マンション分譲資産	1,507	1,281	873
NRL・特定社債	4,091	3,018	2,054
運営事業資産	1,283	1,525	1,534
その他	645	516	468
合計	16,774	15,398	13,692

※左記に含まれていない、国内グループ  
会社の保有するNRL・特定社債残高  
(12.3期)  
683億円

## ■ NOI利回り・空室率の推移

	10.3期	11.3期	12.3期
賃貸中物件の残高	6,603	6,802	7,059
NOI利回り	5.2%	4.9%	5.2%
空室率	6.1%	4.4%	3.5%

## ■ 賃貸不動産売却額の推移

	10.3期	11.3期	12.3期
賃貸不動産売却額	1,174	908	1,137

# 補足資料 (12) アセットクオリティ

## ■ アセットクオリティ

(単位：億円)

	10.3期	11.3期	12.3期
ファイナンス・リース90日以上未収債権額	257	228	174
個別引当対象外貸付金90日以上未収債権額	123	100	86
個別引当対象貸付金債権額・・・①	3,481	2,597	2,357
担保等から全額回収が見込める債権額	800	661	513
要引当対象債権額・・・②	2,681	1,936	1,844
要引当対象債権額・・・②	2,681	1,936	1,844
担保等からの回収見込み額	1,679	1,156	1,083
貸倒引当金残高 (個別引当)	1,003	780	761

① 法的手続、3ヶ月以上未収、業況悪化など、回収に懸念のある債権

② 「個別引当対象貸付金債権」のうち担保等から全額回収が見込める債権を控除したもの

## ■ 貸倒引当金繰入額と貸倒引当金繰入率の推移

	10.3期	11.3期	12.3期
貸倒引当金繰入額	715	274	176
貸倒引当金繰入率※	2.09%	0.94%	0.63%

※貸倒引当金繰入額÷(ファイナンス・リース投資の平均残高+営業貸付金の平均残高)

上記には、変動持分事業体の連結にかかる新会計基準の適用による影響額は含めておりません。

# 補足資料 (13) 米国会計基準に準拠しない財務指標

本資料は、米国会計基準に準拠しない（Non-GAAP）財務指標が含まれています。具体的には、（1）2010年4月1日に適用された証券化に伴う支払債務（ABS、CMBS）を控除した総資産および長期借入債務、変動持分事業体（VIE）の連結にかかる新会計基準の適用による利益剰余金への累積的影響額を控除した当社株主資本や、さらにそれらを用いて計算したその他の指標、および（2）調整後のセグメント利益を、Non-GAAP財務指標として開示しています。

（1）のNon-GAAP財務指標は、2012年3月31日時点の財政状態を過年度期間と比較する上で意味のある追加的な情報を投資家に提供していると考えています。2010年4月1日に会計基準書アップデート第2009-16号および2009-17号を適用したことで、特定のVIEを連結することが求められました。新会計基準の適用は、連結財務諸表上の資産および負債の著しい増加と利益剰余金（税効果控除後）の減少をもたらしましたが、これら連結VIEへの投資から得られる正味のキャッシュ・フローや経済的効果は変わりありません。したがって、米国会計基準に準拠して計算された財務情報の補足として、特定のVIEを連結することによる資産・負債への影響を除いた財務指標を提供することは、現在の財政状態の全体的な理解を向上させ、新会計基準の適用による貸借対照表の大きな変動を除くこれまでの財務および営業のトレンドを投資家が評価することを可能にしていると考えています。

（2）のNon-GAAP財務指標は、2012年3月期のセグメント情報について、過年度期間と比較する上で、セグメント利益からキャピタルゲイン、貸倒引当金繰入および減損を除いたベース利益の情報を提供することで、セグメントにおける利益のトレンドを投資家が評価することを可能にしていると考えています。

米国会計基準に準拠した連結財務諸表の補足情報としてNon-GAAP財務指標を提供しており、Non-GAAP財務指標だけを利用したり、Non-GAAP財務指標をその最も直接的に比較できる米国会計基準に準拠した財務指標の代替指標として利用すべきではありません。これらNon-GAAP財務指標と米国会計基準に準拠した最も直接的に比較することができる財務指標との調整表を本資料で開示された期間について示すと、31、32ページのとおりになります。

# 補足資料 (14) 米国会計基準に準拠しない財務指標

(単位：億円)

財務指標		10.3期	11.3期	12.3期
総資産	(a)	77,398	85,816	83,549
控除：ファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務*1		2,022	10,182	8,747
調整後総資産	(b)	75,376	75,634	74,802
短期借入債務		5,736	4,786	4,580
長期借入債務	(c)	38,363	45,313	42,675
控除：ファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務*2		2,022	10,182	8,747
調整後長期借入債務	(d)	36,340	35,131	33,928
長短借入債務（預金除く）	(e)	44,098	50,099	47,255
調整後長短借入債務（預金除く）	(f)	42,076	39,917	38,507
当社株主資本	(g)	12,987	13,193	13,961
控除：新会計基準の適用に伴う利益剰余金の累積的影響額*3		—	△219	△192
調整後当社株主資本	(h)	12,987	13,413	14,154
当社株主資本比率	(g) / (a)	16.8%	15.4%	16.7%
調整後当社株主資本比率	(h) / (b)	17.2%	17.7%	18.9%
D/E比率（長短借入債務/当社株主資本）	(e) / (g)	3.4倍	3.8倍	3.4倍
調整後D/E比率（長短借入債務/当社株主資本）	(f) / (h)	3.2倍	3.0倍	2.7倍
長期借入比率（ABS, CMBS含む）	(c) / (e)	87%	90%	90%
長期借入比率（ABS, CMBS除く）	(d) / (f)	86%	88%	88%

(\*1) 総資産から控除されたV I E連結に伴うファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務。

(\*2) 長期借入債務から控除されたV I E連結に伴うファイナンス・リースおよび貸付債権等の証券化に伴う支払債務。

(\*3) V I Eの連結にかかる新会計基準の適用に伴う、適用初年度における利益剰余金の累積的影響額。

# 補足資料 (15) 米国会計基準に準拠しない財務指標

(単位：億円)

	財務指標	法人金融	メンテナンス リース	不動産	事業投資	リテール	海外	セグメント 合計	連結財務諸表 との調整	合計
10.3期	セグメント利益 (a)	△ 195	233	1	△ 24	311	371	699	△ 138	561
	(b) キャピタルゲイン ※ 1	7	5	236	11	201	200	659	△ 135	523
	(c) 貸倒引当金繰入	△ 405	△ 20	△ 95	△ 23	△ 93	△ 79	△ 715	0	△ 715
	(d) 減損 ※ 2	△ 6	△ 0	△ 230	△ 118	△ 3	△ 93	△ 450	46	△ 404
	ベース利益 (e)=(a)-(b)-(c)-(d)	210	249	91	106	206	343	1,205	△ 49	1,157
11.3期	セグメント利益 (a)	100	262	1	132	238	456	1,189	△ 256	933
	(b) キャピタルゲイン ※ 1	4	1	225	109	0	139	478	△ 138	340
	(c) 貸倒引当金繰入	△ 127	△ 20	△ 11	△ 68	△ 14	△ 32	△ 272	△ 39	△ 311
	(d) 減損 ※ 2	△ 3	△ 4	△ 329	△ 90	△ 22	△ 71	△ 518	△ 10	△ 529
	ベース利益 (e)=(a)-(b)-(c)-(d)	226	284	116	181	274	421	1,502	△ 69	1,433
12.3期	セグメント利益 (a)	215	347	13	160	218	498	1,452	△ 147	1,305
	(b) キャピタルゲイン ※ 1	3	1	142	53	3	212	415	△ 21	394
	(c) 貸倒引当金繰入	△ 23	△ 0	△ 30	△ 75	△ 11	△ 38	△ 177	△ 15	△ 192
	(d) 減損 ※ 2	△ 11	△ 0	△ 282	△ 42	△ 127	△ 80	△ 542	20	△ 523
	ベース利益 (e)=(a)-(b)-(c)-(d)	245	347	183	224	353	404	1,756	△ 130	1,626

※ 1 「有価証券仲介手数料・売却益」、「不動産販売収入（原価ネット後）」、「賃貸不動産売却損益」、「子会社・関連会社株式売却損益」、および「持分法利益」のうち不動産共同事業体持分利益相当額

※ 2 「長期性資産評価損」、「有価証券評価損」、「不動産販売原価」「持分法利益」等の勘定科目に含まれる減損損失相当額

---

オリックスに関する追加情報については、弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

ホームページ: URL: <http://www.orix.co.jp>

投資家情報: URL: <http://www.orix.co.jp/grp/ir>

年次報告書2011をご希望の方は上記URLからご参照ください。

オリックス株式会社 経営企画部

〒108-0014 東京都港区芝4丁目1番23号

TEL : 03-5419-5041

FAX : 03-5419-5901